

2014 年度 協賛事業

国際 NGO シンポジウム

「北京世界女性会議から 20 年

～その成果と女性の人権をめぐる課題～」

- 開催日 2015 年 3 月 20 日
- 会場 東京（衆議院第 2 議員会館）、
- 共催 日本女性差別撤廃条約 NGO ネットワーク（JNNC）、国連ウィメン日本協会、国際女性の地位協会、自由人権協会、女性人権機構
- コーディネーター 紙谷雅子（自由人権協会）、山下泰子（国際女性の地位協会）、有馬真喜子（国連ウィメン日本協会）
- プログラム
- ≪第 1 部≫「北京+20」UN Women、CEDAW メンバーによる評価と課題
- 「Beijing+20：UN Women の取り組み」
- Ms.Bierta ALIKO（UNWomen 本部人道部長）
- 「女性差別撤廃条約と北京宣言・行動綱領：20 年の成果と課題」
- Ms.Nahla HAIDAR（女性差別撤廃委員会委員）
- 「女性差別撤廃委員会における女性の人権保障
- 北京世界女性会議以降の進展と課題」
- 林陽子（女性差別撤廃委員会委員長）
- ≪第 2 部≫「NGO との対話」
- 「女性差別撤廃委員会における第 7・8 次日本レポートの審議に向けて：JNNC の取り組み」
- 永井よし子（日本女性差別撤廃条約 NGO ネットワーク（JNNC）共同代表世話人）
- Ms.Bierta ALIKO（UNWomen 本部人道部長）
- Ms.Nahla HAIDAR（女性差別撤廃委員会委員）
- 林陽子（女性差別撤廃委員会委員長）
- 概要 シンポジウムは女性と貧困など、12 の重大問題領域を設定した北京行動綱領が、この 20 年で何を成し遂げた、なお、どのような問題が残されているかを検証し、さらに新しい課題も生じている今日、私たちは主として人権の視点から、どのような取り組みを進めていくべきかを討議した。会場には 120 人が参加し、盛会で、議員や議員秘書の参加もあり、マスメディアの取材もあった。